

令和6年度 倉敷市地域福祉基金助成事業実施アンケート

助成期間： 令和6年度～令和6年度

団体名：aSoViva～アソビバ～

一年活動をしての感想

※参加者に喜んでもらったこと、地域福祉基金からの助成がこういったことに生きていることなどを自由に記載してください。

①実施した内容

何年も耕作をしていない畑を一から整備し、作物を選んで種や苗を植えて育てました。できるだけ自然に近い栽培方法を実施することにこだわり、農薬や化学肥料を使わず、食べる人にも地球環境にも優しい農業を実践しました。畑を提供して下さったオーナー様、ご近所の方、私たちの活動に賛同して下さった方々のお力添えを頂き、育てた作物を収穫することができました。さつまいもでは収穫イベントを、大豆は収穫後に豆腐やおからを作るイベントを実施し、多くの方が足を運んで下さいました。イベントや直売などするまでに至らなかった作物は、ご協力いただいた方々にお配りし、また次の活動へつながるきっかけとなりました。

②参加者の感想

畑で行ったイベントでは、芋ほりを初めてしたお子さんにとっても喜んで頂きました。また、宿題で植物を調べていたお子さんが畑の周りに咲いている草花に興味を持ち、芋ほりだけでなく、自然とのふれあいを楽しみ、学習にもつながったとお声を頂戴しております。また、畑の中で子どもたちが元気いっぱいの声で楽しんでいるのを聞いたご近所の高齢者の方が久しぶりに子どもたちの元気な声を聴いた！この声を聴くと古き良き時代を思い出すなあ。とご自宅から顔を出され、穏やかな表情をされていたのがとても印象的でした。

豆腐作りのイベントでは、豆腐を大豆から作ったことのある参加者の方はおらず、とても貴重な体験であったとの感想をたくさんいただきました。農作物での調理イベントに興味のある方や、畑での作業やイベントに興味のある方、自分で自然栽培をやってみたいと考えていらっしゃる方など、私達の活動に興味を持って下さる方がたくさんいました。

③地域福祉基金の有用性

地域の方々を巻き込んで、たくさんの方に喜んでいただけるような活動をしようとすると、金銭的な課題が出てくると思います。今回の助成金がなければ、作物を効率よく無駄なく栽培することを目的としなければいけないので、自然に近い栽培をしたいという私たちの希望は叶わなかったと思います。また、私たちが大事にしていた人とのつながりを広げていくという目的を、農業をツールとして達成していったのも、助成金をいただけていたから、目的に集中できていたと感じております。金銭的な負担を活動メンバーが負うことなく、やりたいことに向かって進めたことに、とても感謝しています。

④今後の展開・夢・課題など

今後は、畑に植える作物の量や種類を増やし、収穫イベントを増やしたいと考えています。また、地域の方々の性別や年代を超えた交流の場を作り、そこからまたさらに新しいつながりができ、地域の活性化に貢献していけるような事業として継続していきます。金銭的な課題と、畑運営の人材不足の課題はありそうですが、活動に賛同して下さる方々を増やし、多くの方々に喜んで頂ける事業展開を考えていきたいと思っています。